

防災気象情報の改善について

令和7年2月27日



東京管区気象台
Tokyo regional Headquarters, JMA

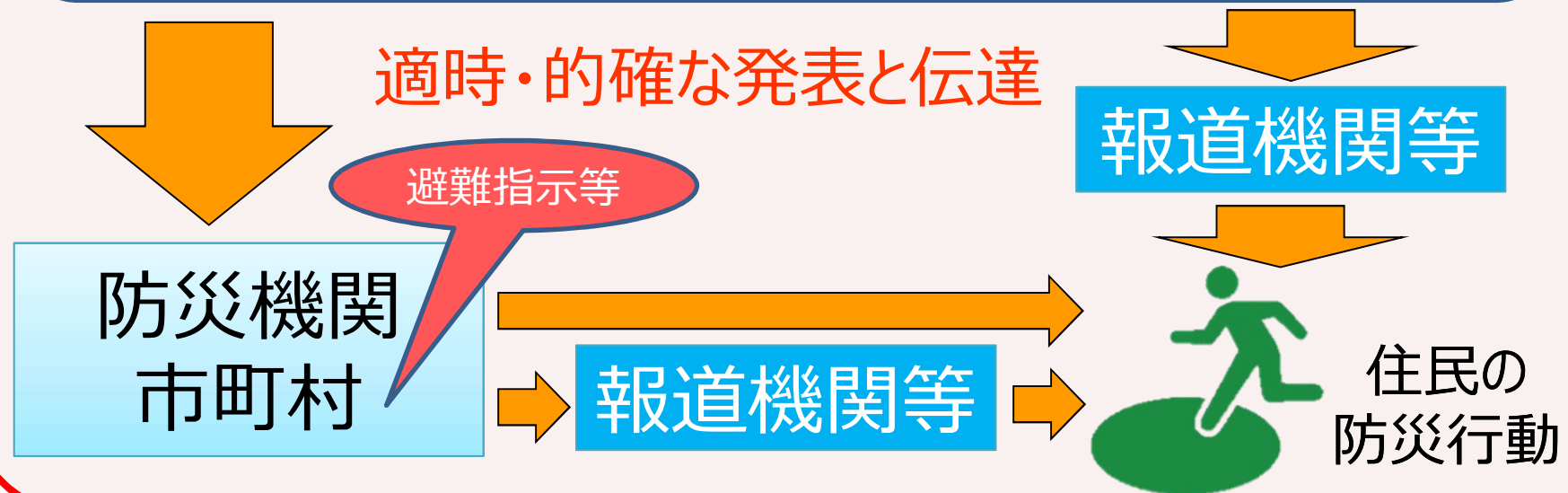


目的：災害による被害の防止軽減を図る

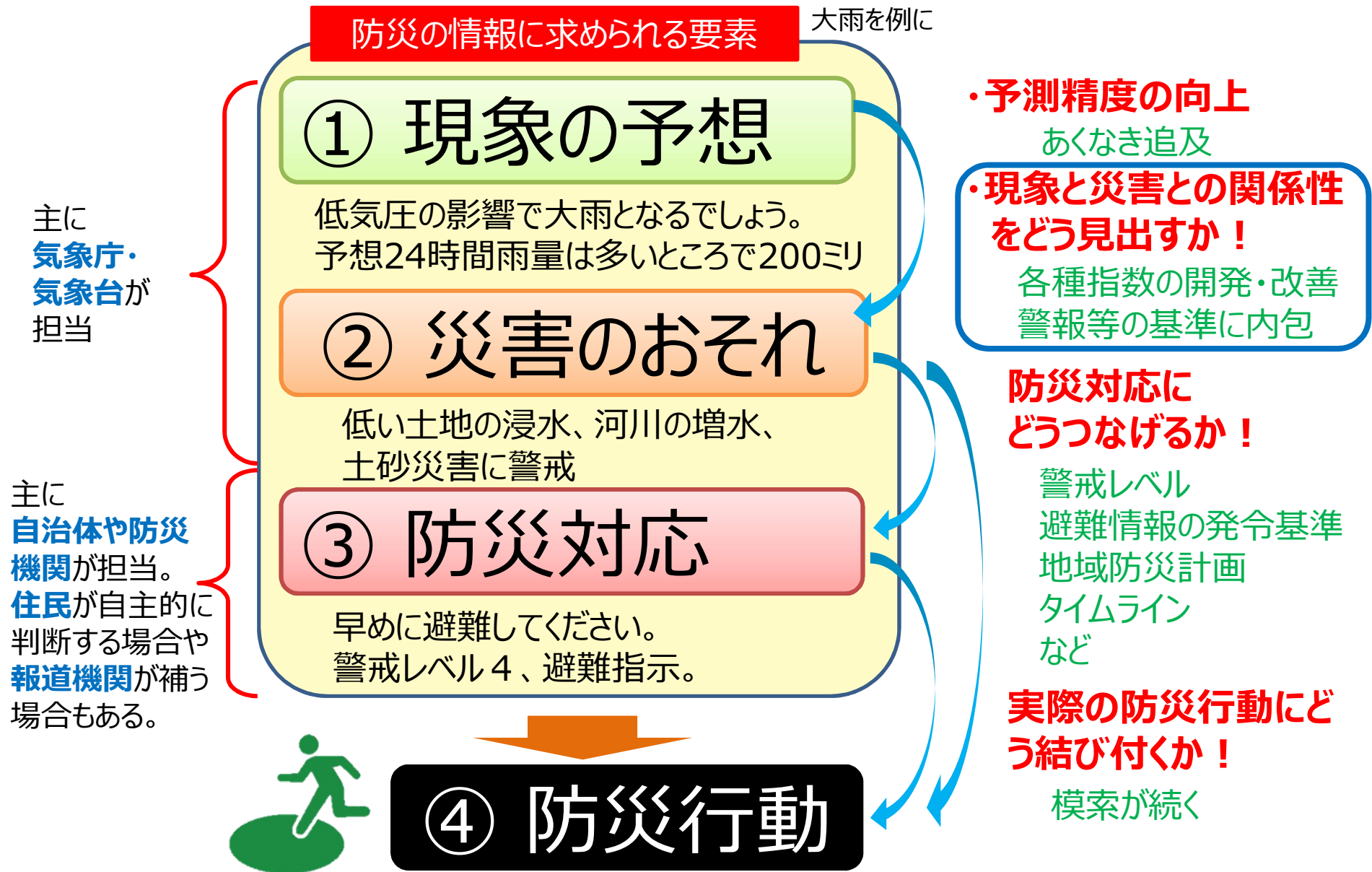
防災機関が行う防災対応や国民の自主的防災行動に資するための情報

= 防災気象情報

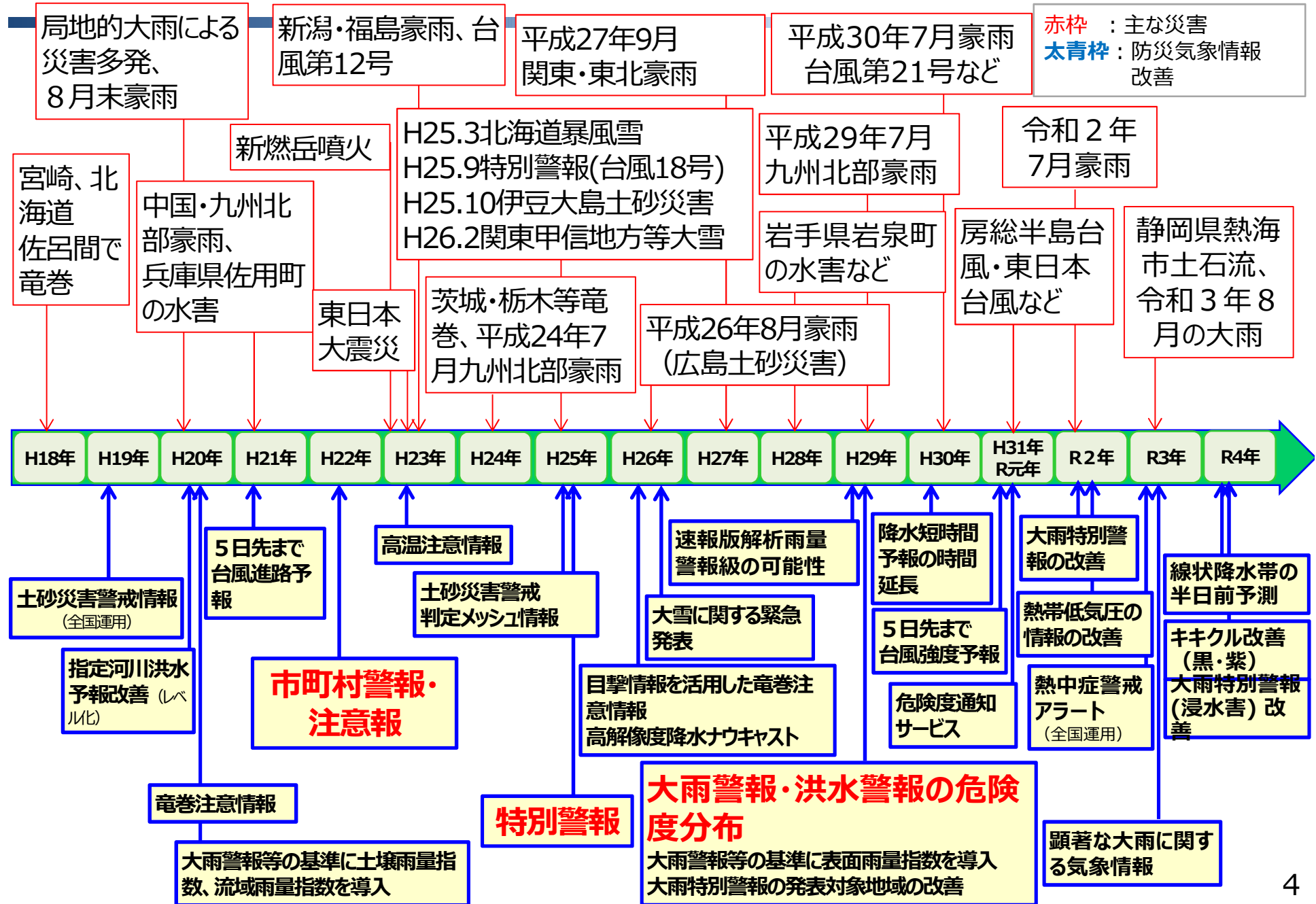
気象、高潮、波浪等の特別警報・警報・注意報、緊急地震速報、大津波警報・津波警報・注意報、噴火警報、台風、大雨、竜巻等突風、地震・津波、火山噴火等の現象に関する情報等



防災情報の構成要素と気象庁の役割



近年の気象災害と防災気象情報の充実等の経過



防災気象情報は段階的に発表

各情報の対象とする現象の発生

先行時間（リードタイム）



定時発表する情報

週間天気予報・天気予報

早期注意情報（警報級の可能性）

新潟県下越	1日		2日		3日	4日	5日	6日
警報級の可能性	12-18	18-24	00-06	06-12	12-24			
大雨	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-
大雪	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風（雪）	-	-	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-	-
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-

降水短時間予報

キキクル（土砂災害・浸水害・洪水害）

ナウキャスト
（降水・雷・竜巻）

随時発表する情報

台風情報（進路・強度予報）

（大雨・暴風等に関する）〇〇県気象情報

気象注意報・警報・特別警報

指定河川洪水予報

土砂災害警戒情報

竜巻注意情報

顕著な大雨に
関する気象情報

記録的短時間
大雨情報

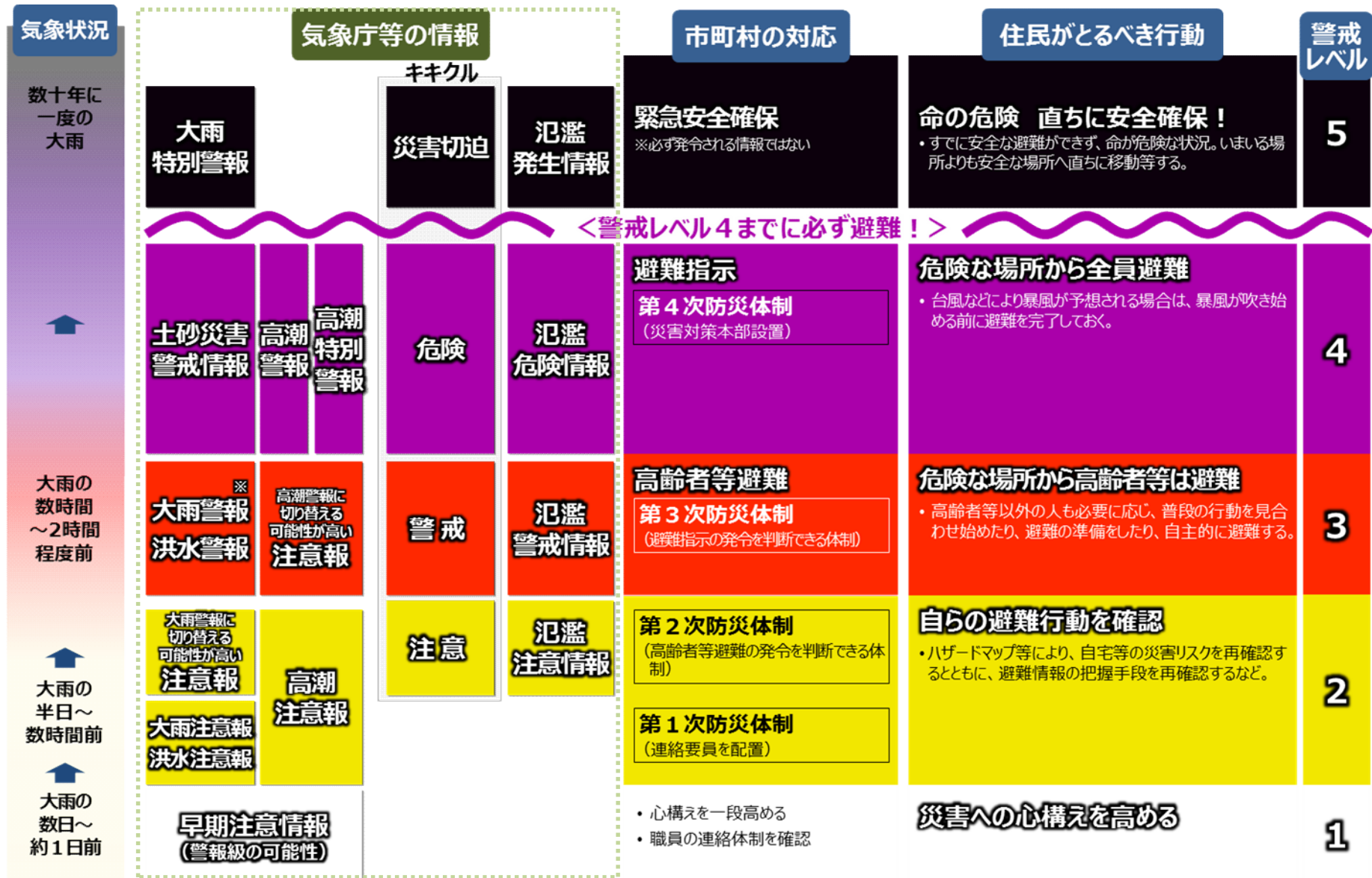
気象庁では、対象とする現象及び予測技術に応じて、リードタイム（先行時間）の異なる防災気象情報を段階的に発表しています。

先行時間が短くなるほど

- ・対象地域を絞ることができる
- ・予想の確度が上がる

⇒ **防災対応も段階的に！**

5段階の警戒レベルと防災気象情報



「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

「防災気象情報に関する検討会」について

＜開催趣旨＞

防災気象情報については従前より「情報の数が多すぎる」「名称がわかりにくい」といった課題があったため、防災気象情報全体の体系整理や個々の防災気象情報の抜本的な見直しなどの中長期的な検討事項を中心に議論を行う場として開催。

事務局は水管理・国土保全局と気象庁が共同で運営。

＜開催実績・スケジュール＞

- ✓ 令和4年1月24日 第1回
- ✓ 令和4年3月14日 第2回
- ✓ 令和4年5月26日 第3回
- ✓ 令和4年7月25日 第4回
- ✓ 令和4年9月9日 中間とりまとめ公表
- ✓ 令和5年12月6日 第5回

(SWG※とりまとめ公表)

- ✓ 令和6年2月19日 第6回
- ✓ 令和6年3月12日 第7回
- ✓ 令和6年5月14日 第8回

⇒ 令和6年6月18日（火）に最終とりまとめを公表・座長記者会見

※ 警戒レベル相当情報の体系整理については、サブワーキンググループ（SWG）において検討

＜有識者委員（敬称略）＞

令和6年4月現在、敬称略、五十音順

委員	所属
池内 幸司	一般財団法人 河川情報センター理事長・東京大学 名誉教授
牛山 素行（SWG座長）	静岡大学 防災総合センター 副センター長 教授
大原 美保	東京大学大学院 情報学環 教授
小山内信智	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター 砂防技術研究所長
片田 敏孝	東京大学大学院 情報学環 特任教授
国崎 信江	危機管理教育研究所 代表
出世ゆかり	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 主任研究員
関谷 直也	東京大学大学院 情報学環 教授
田中 淳	東京大学大学院 情報学環 特任教授
堤 浩一朗	LINEヤフー株式会社メディアカンパニー ヤフーメディア統括本部 Yahoo!天気・災害 企画
新野 宏	東京大学 名誉教授
福島 隆史	一般社団法人 日本民間放送連盟 災害放送専門部会 幹事（TBSテレビ 報道局 解説委員）
保科 泰彦	日本放送協会 報道局 災害・気象センター長
南 利幸	NPO法人 気象キャスターネットワーク 顧問
森 信人	京都大学 防災研究所 教授
矢守 克也（座長）	京都大学 防災研究所 副所長 教授

防災気象情報の体系整理（警戒レベルの考え方）

令和8年度出水期からの運用に向けて準備中

- シンプルでわかりやすい防災気象情報の再構築に向け、防災気象情報全体の体系整理や個々の情報の見直し、受け手側の立場に立った情報への改善などを取りまとめ。

警戒レベル相当情報の体系整理

○ 防災気象情報に関する検討会を受けた見直し案

取るべき行動		洪水（氾濫）、大雨、 土砂災害、高潮
命の危険 直ちに安全確保	→	レベル5 特別警報
危険な場所から 全員避難	→	レベル4 危険警報
危険な場所から 高齢者などは避難	→	レベル3 警報
避難行動の確認	→	レベル2 注意報

新たな防災気象情報では、5段階の警戒レベルをベースに、災害発生の危険度の高まりに応じて情報を発表する。

防災気象情報の体系整理（警戒レベルの設定（検討中イメージ））

令和8年度出水期からの運用に向けて準備中

- シンプルでわかりやすい防災気象情報の再構築に向け、防災気象情報全体の体系整理や個々の情報の見直し、受け手側の立場に立った情報への改善などを取りまとめ。

警戒レベル相当情報の体系整理

◆ 現在の主な防災気象情報など

警戒 レベル	洪水など		土砂災害	高潮
5	氾濫発生 情報	大雨特別 警報 (浸水害)	大雨特別警報 (土砂災害)	高潮氾濫 発生情報
4	氾濫危険 情報	—	土砂災害 警戒情報	高潮 特別警報 高潮警報
3	氾濫警戒 情報	洪水警報	大雨警報 (土砂災害)	高潮注意報※1
2	氾濫注意 情報	洪水注意報	大雨注意報	高潮注意報※2

※1 警報に切り替える可能性が高い旨に言及されているもの

※2 警報に切り替える可能性に言及されていないもの

◆ 検討中イメージ

		洪水に関する情報 「洪水危険度」	大雨浸水に関する情報 「大雨危険度」※1	土砂災害に関する情報 「土砂災害危険度」	高潮に関する情報 「高潮危険度」
		氾濫による社会的影響大の 河川（洪水予報河川、水位 周知河川）の外水氾濫	内水氾濫及び左記以外の 河川の外水氾濫		
発表単位		河川ごと	基本的に市町村ごと	基本的に市町村ごと	沿岸ごと又は市町村 ごと※2
警戒 レベル 相当 情報 ※4	5 相当	レベル5 氾濫特別警報※3	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報※3
	4 相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
	3 相当	レベル3 氾濫警戒	レベル3 大雨警戒	レベル3 土砂災害警戒	レベル3 高潮警戒
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

- ・ 情報名称の最終決定は、法制度や実際の情報の運用、伝え方なども踏まえ、気象庁・国土交通省が行う。

防災気象情報の体系整理（気象情報）

令和8年度出水期からの運用に向けて準備中

気象情報（解説情報）の体系整理

◎ 情報の性質を把握できるよう分類して提供

- ▶ これまでいくつかの種類の「気象情報」として伝えていた情報は、線状降水帯をはじめとした具体的な極端現象が発生または発生しつつある場合にその旨を伝える「極端な現象を速報的に伝える情報」と、現在及び今後の気象状況等を網羅的に伝える「網羅的に解説する情報」に分類して提供。
- ▶ それぞれの区別がつくよう統一的な情報名称とし、「線状降水帯」などのキーワードを付すことにより情報へのアクセスを改善。

極端な現象を速報的に伝える情報・・・「気象防災速報」

現在

顕著な大雨に関する気象情報

記録的短時間大雨情報

顕著な大雪に関する気象情報

竜巻注意情報

整理後

気象防災速報（線状降水帯発生）

気象防災速報（記録的短時間大雨）

気象防災速報（短時間大雪）

気象防災速報（竜巻注意／竜巻目撃）

網羅的に解説する情報・・・「気象解説情報」

現在

全般/地方/府県気象情報

全般台風情報

整理後

気象解説情報（※）

気象解説情報（台風第○号）

※何に着目した情報なのかがわかるよう、括弧内にキーワードを付す。

1. 新たな防災気象情報の概要に関する説明

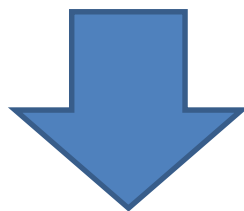
都道府県や市町村に対しては、これまでに適宜実施してきており、令和7年度もその他関係機関を含め随時、説明を実施。

2. 新しい情報体系に合わせた発表基準の検討

都道府県や市町村、関係機関に協力をいただきながら、発表基準の検討など、運用準備を進めていく。

3. 新たな防災気象情報の広報、普及啓発

なるべく周知期間をとって実施するよう準備を進めている。



令和8年度出水期からの運用に向けて
準備をすすめる